

酪農

とちぎ



平年より暖かな日々が続きました。が山々は艶麗に色づき、冬の訪れを感じる季節となりました。西風が北風になるとともに肌寒さが増し、冬支度に心忙しい思いです。

全国の稲作状況は平年並みからやや不良、天候不順や局地的自然災害等の影響が散見されます。皆様におかれましては秋の収穫作業を終え、冬に向けての準備を急ぐ多忙な毎日かと存じます。

組合においては上半期を経過し、十八年度事業を折り返しました。

また、改良課も無事スタートを切り、更なる合理化を目指し思索しております。変わらぬご支援の程宜しくお願い申し上げます。



上半期生乳生産量

前年比九九・九％に

(全国的に計画生産浸透)

平成十八年度は急激な需給状況の悪化により、急遽減産型の計画生産を余儀なくされ、組合員の皆様の特段のご協力を頂き、六月から実施する事となりました。そのような状況の中で、半年が経過したところですが、下期の計画生産概況・各事業の進捗等をお知らせ致します。

下期の計画生産については、牛乳消費が相変わらず低迷を続けているものの、全国的に減産が浸透してきたことで需給が改善傾向にあり、各指定団体も期中の計画生産下方修正に否定的な見解が示されていることから、見送られる方向になっております。しかし、下方修正が見送られた場合でも、脱脂粉乳の過剰在庫に対する、緊急的な特別対策等が実施される予定です。詳細については、確定次第お知らせ致します。

生乳生産量は、六月から本格的な計画生産への取組を開始し、組合員の皆様には大変なご苦労をお掛けしておりますが、皆様のご協力により上半期の生産量は、前年

比九九・九％(関東全体では九九・二％)となりました。全国的に計画生産が浸透しつつあり生産抑制が進む見通しですが、脱脂粉乳在庫削減の目標達成が困難となっており、引き続き計画生産にご協力賜りますようお願い致します。

市乳販売は、茶系飲料・健康指向飲料に押され、前年比八九・六％の実績になりました。組合ではそれらに対抗するため、取引先での販売応援やキャンペーンを実施し、牛乳の販売促進に努め、県内外のイベント出展、新聞・ラジオ等のメディアを通じ、那須だいき牛乳を中心に広告宣伝を積極的に進めました。特に下野新聞に

は毎月定期的に商品を掲載し、県内PRに努め、販売量の回復を目標に事業を展開しております。また、七月からは、牛乳・乳製品消費拡大(地産地消)の一環として「通常購買品・おすすりめ品」の斡旋販売を開始致しました。

購買事業は、組合員個々に適切な飼料等生産資材を供給するため、指導・診療課及び飼料メーカーと連携を図り、組合購買利用者に給与飼料の見直しを重点とした定期巡回を実施致しました。また、未利用者には指導購買及び組合利用の有利性について説き、利用推進を積極的に行いました。更に、生乳の計画生産に対応し、給与飼料の適切且つ効率的なコスト低減を図るための技術支援に努めております。上半期飼料実績については濃厚飼料四八・〇一八ト(前年比九七・九％)粗飼料二七・五三八ト(前年比九七・六％)の実績となりました。

指導事業は、五月二十五日から施行されたポジティブリストの対応に向け研修会を開催し、巡回指導により記帳・記録・保管の定着化を推進致しました。また、六月

からの計画生産への取り組みの中で、全乳哺育による出荷調整の対応、計画生産に基づく個人別の生産枠配分決定等に取り組みました。さらに、栃木県酪連の包括承継に伴い、酪農部に改良課を新設し準備を進め、十月より凍結精液配布事業・登録事業・牛群検定事業を推進することになりました。

診療事業は、指導型診療業務の充実に向け、指導課と一体となつて定期繁殖検診、乳房炎防除及び受精卵移植を計画に基づき順調に推進しております。

牧場事業は、指定管理者制度に基づき、土上平放牧場・霧降高原牧場を管理運営し、疾病・事故等の発生もなく計画を上回る実績状況です。また、発情同期化・受精卵移植等も積極的に取り組み受胎率向上に努めていきます。

施設合理化は、計画に基づき順調に手続きを進めており、栃木県南支所の新設が十一月より着工し、今年度中の完成を目指します。また、県央地域合理化検討協議会を立ち上げ、宇都宮支所・烏山事業所の対応について検討を開始致しました。



酪農部改良課が始動

県酪連の権利義務承継に係わる事業が本組合に移管され、十月一日から「酪農部改良課」で実施する事は、前回紹介させて頂きましたが、推進する事業内容について再度ご説明いたします。課の構成人数は、改良課長を始め五人で構成され、牛群（個体）の改良に係る事業を展開いたします。

主な事業は登録事業・凍結精液等配付事業・牛群検定事業・後代検定推進事業を推進します。また、各事業内容については、次の通りとなります。

登録事業

登録事業は、優れた後継牛の生産・優良血統の維持を目的に推進する事業です。血統登録は、登録証により父母、祖父母など血統が

明確になり、遺伝的に優れた血統を確実に残すことができます。また、遺伝的不良形質を未然に防止することができ、本事業の活用をお願い致します。

凍結精液及び受精卵配付事業

凍結精液及び受精卵配付事業は、家畜の改良増殖を効率的かつ適切に推進を行うための事業です。また、凍結精液・受精卵は、家畜改良事業団等が家畜改良上適切と認める種雄畜・雌畜から採取・処理した凍結精液・受精卵の配付を行っています。

配付資格を有する者は、県家畜人工授精師協会会員の嘱託家畜人工授精師ですが、家畜人工授精師の資格を有し本事業の利用を希望した場合は、本組合長が判断し適

当と認められた場合に配付を受けることができます。このように、本県畜産酪農家が利用する精液等は、全て本組合より提供され管理されます。

牛群検定事業

牛群検定事業は、乳用牛群の生産性を向上させ、酪農経営の改善、安定を図るための事業です。検定の記録を用いて個体能力の把握を行い、検定牛の遺伝的・外要因による能力評価を行い改良に役立てることができ、本事業を活用して下さるようお願い致します。

乳用種雄牛後代検定推進事業

乳用種雄牛後代検定推進事業は、候補種雄牛生産のための計画交配を行い、候補種雄牛を生産選定し、候補種雄牛の娘牛を生産するため調整交配とその娘牛の能力検定を実施し、娘牛の検定記録から候補種雄牛の遺伝的能力を評価する事業です。後代検定事業により、

遺伝的に優れた能力を有することが科学的に証明され、選抜された優良な検定済種雄牛を利用することは、遺伝的能力を飛躍的に改良することができます。後代検定事業を利用することは、優れた乳用種雄牛の開拓と血統の保護に不可欠な事業ですので、ご協力をお願い致します。

以上の事業等を改良課で推進し、組合員の期待に応えるよう家畜改良増殖を進めてまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。



東西南北

那須高原支所

女性会大田原支部研修会

九月十五日、女性会大田原支部（高崎洋子支部長）は十九名が参加し、群馬方面への研修会を実施しました。

最初に、アンディー&ウイリアムスボタニックガーデンを見学しました。ここは、十七世紀頃のヨーロッパの様式で造られた庭園で、係りの人の説明に花の名前や手入れ方法について質問したりして皆さん熱心に聞いていました。

次に、太田市にある東毛酪農協の組合直売所「ミルクランド東毛」



を視察しました。店内は牛乳・乳製品をはじめ野菜や特産品も販売しています。とても明るい看板娘ならぬ看

板おじさんが低温殺菌牛乳の説明や、よりおいしくと「こだわりの牛乳ビン」の話をしながら試飲を勧めてくれて、皆さん興味津々で試飲し、感想を語りあっていました。お土産に乳製品を買う人もいて、日頃は生産者の皆さんが消費者として他の牛乳に接することのできた良い研修会になりました。帰りの車中、高崎洋子支部長より「これから忙しい季節になりますが農作業に十分注意し、大切な家族の安全と健康を、女性である私たちが気遣い守ってゆきましょう。」との挨拶で終了しました。

宇都宮支所

ハツラツ！女性会 牛乳のPR

平成十八年十月十四日、イオンさくら店駐車場にて開催された



「しおや地産地消まつり」で、女性会塩谷支部が牛乳の試飲・販売・パンフレット配付等、消費拡大に向けたPR活

動を展開しました。

イベントには、高根沢と塩谷・矢板合わせて十五名の支部員が集まり、めいめいが工夫を凝らして自慢の牛乳をPRしました。明るく積極的な試飲のすすめと、本組合牛乳の素晴らしさをアピールした結果、準備した那須だいき牛乳百四十四本は午後も早いうちに完売致しました。消費者の方と「ちぎの牛乳」のおいしさを実感していただけただけの結果ではないでしょうか。

牛乳批判本による影響も懸念される昨今ですが、正しい知識を身につけると共に、このように「自然な形で牛乳や酪農に親しんでもらうのが大切なのかもしれない」と感じました。

栃木県南支所

『フリーバーン牛舎 + キャリロボ稼働』

今回は、斬新な発想の搾乳方法を今春から取り入れ、ゆとりをもって生産性を高めている下野市の藤沼昭夫牧場を紹介します。

藤沼牧場では、効率的な搾乳を行うため、フリーバーン牛舎を増改築し、飼槽側に二十八頭分の広



新しい搾乳システムと藤沼御夫妻

間隔の特注連続スタンションを設置し、パイプラインと二基のキャリロボ（一基で搾乳ユニット二台搬送）を使用し、繋いだ状態で効率的に搾乳を行う方法を取り入れました。また、堆肥処理においては、雪印の「沃野」を国内の一号機として設置し、積極的に堆肥の生産・販売に取り組んでいます。藤沼牧場は乳肉・稲作の複合経営を営み、さらに水稲の請負い等を行っており、朝晩の搾乳作業の軽減とカウコンフォートの向上を図るため、フリーバーン+キャリロボという新しい技術の導入を決めました。機械の操作に慣れるまで搾乳に時間がかかっていましたが、現在では四十五分で終了しています。また、ロールや乾草を自由採食できるようになり、牛達も満足げに反芻していました。そして、乾物摂取量が向上したことから、周産期病や乳房炎が減り、導入成果が表れています。



市乳販売課

牛乳への理解・販売促進PRを継続実施

組合では市乳販売課を中心に、イベント出展・メディアPRを積極的に展開し、販売促進を実施しておりますが、牛乳の価値を疑問視するような説が先般報道されたことにも対応し、「牛乳の良さ」「飲む必要性」を記載したチラシ(3・A・Day)や関連資料をイベント来場者に配布し、牛乳に対する正しい知識と理解を得て頂きたいとPRを行っております。また、取引先においては「那須だいき牛乳」を中心に販売促進PRを実施し、販売量の回復を目指しております。

さらに、広報宣伝として平成十九年PR用年賀はがきを製作致しました。組合では、この年賀状を通し広範囲に消費拡大を働き掛ける所存ですので、県内外の知人・ご親類への年賀状には本状をご利用頂きたく、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

九月及び十月の主なPR活動

1 イベント出展PR

期 日	イ ベ ン ト 名	開 催 地
9月16日	ふるさと那須地産地消フェア	那須塩原市
10月1日	うつのみや食育フェア	宇都宮市
13～15日	とちぎ住宅フェア2006	宇都宮市
21日	栃木県酪農フェア2006	那須塩原市
22日	巻狩まつり	那須塩原市
28日	明保小学校まつり	宇都宮市

2 メディア等によるPR

期 日	内 容	備 考
9月4日	下野新聞社表敬訪問(着ぐるみPR等)	5日記事掲載
21日	PR用H19年賀はがき製作	県内外向け4種類

3 取引先での販売促進PR

期 日	取 引 先	所 在 地
9月3日	那須ハイランドパーク	那 須 町
27日	かましん清原テクノ店	宇 都 宮 市
29日	ジャパンミート(ジョイフルホンダ内)	上 三 川 町
30日	かましん自治医大店	下 野 市
10月5・30日	小山Tマート	小 山 市



(ふるさと那須地産地消フェア)
子供たちも大喜びの搾乳体験



(うつのみや食育フェア)
那須だいき牛乳の試飲



(とちぎ住宅フェア2006)
上棟式にて“とちミルクちゃん”がPR



(那須ハイランドパーク)
バター作り体験も大好評



(ジャパンミート)
牛乳販売と併せ牛乳オレ試飲を実施



(下野新聞社表敬訪問)
普及PRとして記事掲載されました。

通常購入品・おすすめ品について

通常購入品等の実施から四ヶ月が過ぎました。現在は月に二度の幹旋販売を行ない、延べ約六十名の方にご利用を頂いており、ご協力に際し深く感謝する次第でございます。この定期販売は、牛乳・乳製品の消費拡大に寄与することを目的として実施し、一般食料や常温飲料も併せ、今後も商品等を選定しながら、ご紹介してまいりますので、ご活用頂きます様よろしくお願い申し上げます。

知って得するママ知識(文献引用)

乳製品継続摂取で女性の肌の悩み解消
牛乳・ヨーグルト・チーズから自由
に一日三品ずつ十二週間毎日摂っても
らうなど調査した結果、顔の皮膚の水
分量・弾力性・柔軟性・キメ・シワの
面積率に効果が現れました。これは、
牛乳中に含まれる抗酸化作用の高いビ
タミンAやタンパク質の効果です。
牛乳飲用者は体脂肪が低い
飲用の有無と減量の関係を調査した
結果、牛乳を飲んだ方が体脂肪が減つ
て、筋肉量が増える結果を得、筋肉を
落とさずに減量したい人に適した飲料
であると報告されています。



部課だより

生乳販売課

生乳生産量九月度

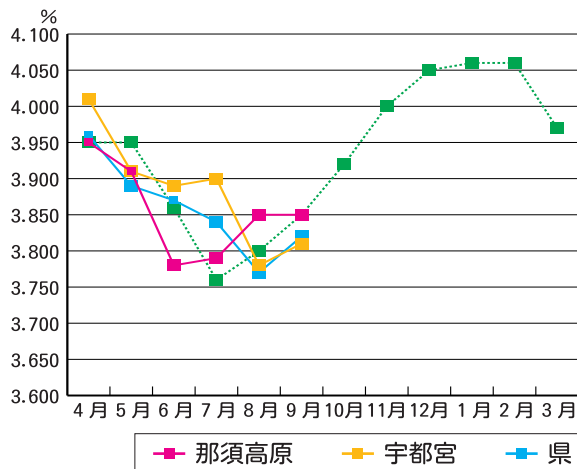
前年比一〇〇・〇％

九年度の生乳生産量は、一七、六六トン（前年比一〇〇・〇％）の生乳生産量となりました。支所別生乳生産量をみると、那須高原支所においては前年比九九・一％、宇都宮支所一〇〇・五％、県南支所一〇二・一％の実績となりました。

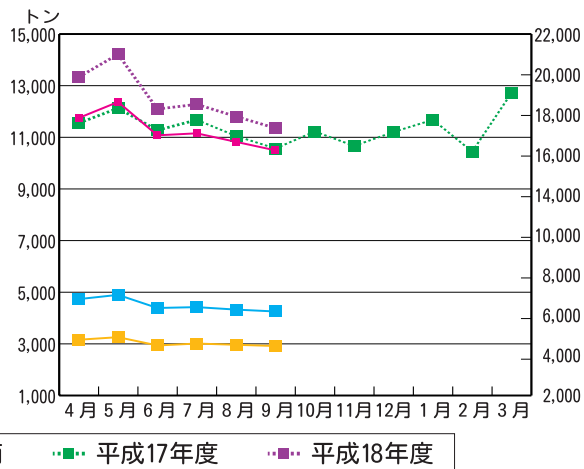
九月度、関東においては前年比九八・五％で累計では九九・二％となりました。

関東の七月の特定乳製品向けについては二・一七％（前年二・二％）と前年より生乳生産量は減少しているものの前年並みの加工率となりました。飲用牛乳向けは四・〇％の減と飲用需要の低迷が依然と続いております。また、はつ

◆ 脂肪率の推移

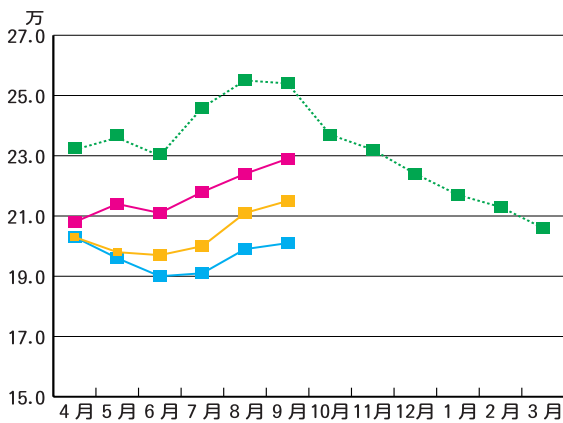


◆ 乳量の推移

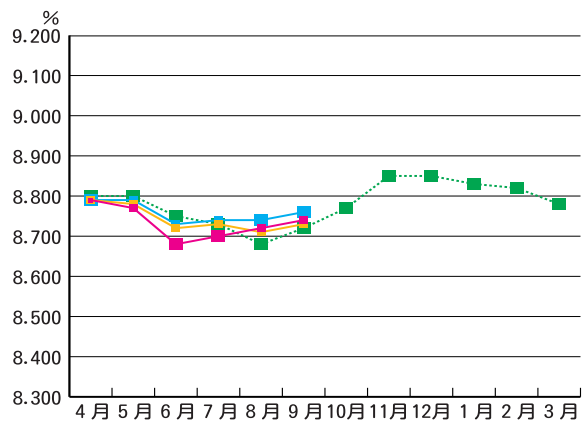


酵乳向けについては前年比一一八・〇％となっております。全国の生乳生産量においても九

◆ 体細胞数の推移



◆ 無脂乳固形分率の推移



月度（前年比）九六・六％、累計では九八・〇％となっております。組合における九月度乳質成績は、

酪農部

乳牛飼養動態調査より

九月一日現在の乳牛飼養動態調査がまとまりましたので、お知らせします。

出荷戸数は六五〇戸。期中の酪農中止者は三十六戸（前年比五・二％減少）。酪農中止者の多くは、病気療養や高齢を理由に挙げており、経営転換や他産業への転業は十戸でした。

飼養頭数では、那須高原支所管内において、二戸の大規模酪農家が加入したこともあり、支所管内の飼養頭数が一六〇九頭増加しま

脂肪率が三・八三％、無脂固形分率は八・七四％でほぼ前年同様となりました。細胞数については九月においても前年を下回る二二・〇万（前年二五・四万）の好成绩となりました。

九月迄の乳量及び乳質成績は上記のとおりです。



したが、全体では九八六頭増の、三九八八六頭でした。内訳は、経産牛が七七八頭増の二七一一四頭、未經産牛（初妊牛・育成牛・外部預託牛）頭数は一二七四二頭（一九〇頭増）でした。

飼養頭数に対する未經産牛の割合は、三一・九%（〇・四%減）でした。

分娩予定頭数（九月～翌年二月）は、前年を四二五頭上回る一二七一頭で、翌年一月には分娩のピークを迎える調査結果でした。

また、品種別受胎状況は、ホルスタイン種が五七・一五%、交雑種が三五・三四%、和牛ETが七・五%でした。分娩予定牛の六割弱がホルスタイン種で、後継牛確保に努められていると見えます。

残りの四割強は、交雑種と和牛ETで、副産物による経営向上・安定等、新たな乳肉複合経営の観点から、今後も注目してまいります。

減産型生乳計画生産下、今後の

乳牛飼養動態調査表

平成18年9月1日現在

支所別	調査年月	出荷者数	飼養頭数							1戸平均飼養頭数	月別分娩予定頭数						
			成牛				育成牛未種付牛	外部預託牛	合計		9月	10月	11月	12月	1月	2月	合計
			搾乳	乾乳	初妊	小計											
那須高原支所	H18.9	396	13,991	2,326	2,167	18,484	4,552	1,549	24,585	62.1	1,219	1,296	1,363	1,242	1,407	1,138	7,665
	H17.9	410	13,261	2,124	2,162	17,547	4,325	1,104	22,976	56.0	1,241	1,240	1,165	1,253	1,258	1,093	7,250
	増減	-14	730	202	5	937	227	445	1,609	6.1	-22	56	198	-11	149	45	415
宇都宮支所	H18.9	122	3,674	656	684	5,014	1,325	371	6,710	55.0	376	338	370	343	368	312	2,107
	H17.9	129	3,742	628	762	5,132	1,330	294	6,756	52.4	415	351	353	360	331	323	2,133
	増減	-7	-68	28	-78	-118	-5	77	-46	2.6	-39	-13	17	-17	37	-11	-26
栃木県南支所	H18.9	132	5,650	847	592	7,089	1,191	311	8,591	65.1	477	452	479	546	500	485	2,939
	H17.9	147	5,708	903	623	7,234	1,602	350	9,186	62.5	515	547	467	464	479	431	2,903
	増減	-15	-58	-56	-31	-145	-411	-39	-595	2.6	-38	-95	12	82	21	54	36
合計	H18.9	650	23,315	3,829	3,443	30,587	7,068	2,231	39,886	61.4	2,072	2,086	2,212	2,131	2,275	1,935	12,711
	H17.9	686	22,711	3,655	3,547	29,913	7,257	1,748	38,918	56.7	2,171	2,138	1,985	2,077	2,068	1,847	12,286
	増減	-36	604	174	104	674	-189	483	968	4.7	-99	-52	227	54	207	88	425

需給見通しも厳しい状況ではありますが、「安全・安心」の確保に努

め、良質乳生産に邁進されますよう、お願いいたします。

10月ホクレン初妊牛市場成績

〔単位：頭，千円（税込）〕

市場名	開催日	成立頭数	平均価格	～350	351～400	401～450	451～500	501～550	551以上
釧路	10月4日	243	407	23	90	91	31	5	3
根室	10月5日	392	412	36	129	159	40	16	12
十勝	10月10日	347	382	99	124	82	27	5	10
苫小牧	10月13日	109	390	26	44	27	5	4	3
豊富	10月19日	378	382	107	121	132	11	2	5
根室	10月20日	323	391	40	158	101	15	8	1
十勝	10月24日	468	404	84	146	153	54	16	15
北見	10月25日	352	399	80	118	78	59	7	10
合計		2,612	397	495	930	823	242	63	59
前月		2,557	415	319	634	1,035	431	49	89
前年同月		3,003	472	46	202	576	765	481	179

家畜市場成績

平成18年10月

〔単位：円（税込）〕

市場名	種別	成立頭数	平均体重	最高	最低	平均
西那須野	ホルス雄	128	-	63,000	110	34,599
	F1雄	51	-	206,850	59,850	164,788
	F1雌	48	-	151,200	54,600	109,069
館林	ホルス雄	8	71	36,000	10,000	23,625
	F1雄	25	94	223,000	151,000	187,880
	F1雌	28	88	167,000	61,000	129,607



理事会だより

九月度理事会

報告事項

- (一) 資金貸付について
 - (二) 九月份生産者支払乳価について
 - (三) 動態調査の結果報告について
 - (四) 栃木県南支所建設委員会報告について
 - (五) 栃木県酪連の権利義務包括承継認可書交付について
 - (六) 篤根酪農協との和解について
 - (七) 県酪連承継による職員人事について
- 協議事項
- (一) 八月度事業実績について
 - (二) 生乳受託規程・契約書の改正について
 - (三) 栃木県酪連承継に伴う規程の設定について
 - (四) 平成十八年度牛乳乳製品消費拡大実施について
 - (五) 栃木県南支所基本設計確認及び業者選定等について

- (六) 那須高原配送センターの修繕工事について
- (七) 役員研修について

お知らせ

職員人事 十月一付

転籍

総務部付 阿久津甲一

(栃木県酪農協会出向)

酪農部改良課課長 浅野 吉郎

〃 課長補佐 江間田信一

酪農部改良課 大垣 幸子

酪農部改良課 高橋 貞光

酪農部改良課 石森 輝之

宇都宮支所 砂川 晃子

女性会活動報告Ⅱ

前回は南那須支部の牛乳料理をご紹介しましたが、今回は那須支部の活動を報告致します。

当支部では、那須地域で行われるお祭りやイベントに積極的に参加し、「那須だいすき牛乳」の試飲をメインに、バター作り体験や折り紙で牛を作るコーナーを設け、地域組合および青年部と協力し合って牛乳キャンペーンを展開し



折り牛コーナーでがんばる支部員さんら

ております。支部長の磯由起子さんは、「私たち生産者も、消費者がどのようにして牛乳を手にするのかを、もっと真剣に考えなければいけない。イベントに参加することで、より多くの人に那須の牛乳のおいしさをアピールしたい。」という意気込みで、ハツラツとイベントに参加しています。牛乳を配る際には、笑顔で「産地限定の、那須だいすき牛乳です。」と声を大にしてブランド名をアピールしています。また、同時にある支部員さんの発案で「牛乳を飲もう！食べよう！」とタイトルを付けたリーフレットに、牛乳の良さと、組合牛乳を取扱っている販売店名を載せたチラシを手渡し、知識や情報も一緒に持って帰っていただく



中央右:支部長の磯由起子さん、中央左:副支部長の高久欣子さん

こうと努力しています。今年度は、

- ・六月 芦野田植え祭り
- ・七月 家庭の日推進大会
- ・八月 那須高原ベコ祭り
- ・ 子供フェスティバル
- ・九月 那須九尾祭り
- ・十月 那須フェア

等に参加致しました。イベントに生産者自らが参加することで、消費者へ伝わる牛乳の良さが大きくなるはず。今後もしつづつ、消費者へ牛乳のアピールをするための企画を見つけてながら、楽しくキャンペーンを実施していきます。

さあ、皆さん合言葉は、「朝はイコトいっぱい(一杯)の牛乳から!」です。



栃木県酪農フェア二〇〇六開催

十月二十一日(土)仲秋とは思

えぬ暑さの下、栃木県酪農フェア(栃木県酪農協会主催)が、那須塩原市の栃木県酪農試験場にて開催さ、約一万人の来場者で終日賑わいました。

会場は、ミルクの国ゾーンと消費者とのふれあいゾーンに分かれ、ミルクの国ゾーンでは、第十八回栃木県ホルスタイン共進会が十勝家畜人工授精所 山口 寿典氏を審査員に迎え行われました。出場に向けてコンディションを整えられた七十六頭の乳牛が勢揃いし、厳正なる審査を受けておりました。

今大会は、十一月に開催される第十四回関東地区ホルスタイン共進会の予選を兼ねており、多くのギャラリーが見守る中、各部の序列が決定されました。上位入賞牛及び第十四回関東地区ホルスタイン共進会栃木県代表牛は、別表の通りです。入賞者の皆様お

めでとうございました。

また、消費者とのふれあいゾーンでは、搾乳体験や子牛とのふれあいコーナー、ミルク王国フェアに、多くの家族連れが賑わいました。子供たちのバター作り体験や搾乳体験、子牛とふれあう姿を、親御さんがデジカメラやビデオで撮影している微笑ましい光景が、多く見かけました。

乳製品の販売や飲食コーナーにも多くの方が集まり、中でも栃木県酪農青年女性会議が行なった牛乳入り豚汁は、配布前から多くの方が並び、配布を始めて一時間足らずで予定していた一、〇〇〇食分の豚汁が終了してしまいました。なお、第十四回関東地区ホルスタイン共進会が十一月十五(水)・十六日(木)に千葉県千葉家畜市場にて開催されます。栃木県代表として出品される十二名(出品頭数十六頭)のご活躍をお祈りしております。



搾乳体験.



山口寿典審査員.



仔牛とのふれあい.



手作りバター体験.



審査員風景.



審査員風景.

第18回栃木県ホルスタイン共進会上位入賞牛一覧

優等賞 1 席

部 別	名 号	出 品 者	酪 農 協	備 考
第 1 部	ハーネスファーム レッド スター ルル	那須塩原市 高塩 久	酪農とちぎ	
第 2 部	レインボーファーム セプテンバー ストーム ロクシー	那須塩原市 大沼 辰徳	栃 酪	
第 3 部	マウンテンビュー マジック エアロ ハム	矢 板 市 山本 訓	酪農とちぎ	
第 4 部	レインボーファーム ブライトネス カイト パーク	那須塩原市 大沼 辰徳	栃 酪	
第 5 部	キクイチ コラ レデューク チャンピオン	那須烏山市 菊池 善也	酪農とちぎ	ベストアダー
第 6 部	コージー ロング ロイアーロン	市 貝 町 梶村 健介	酪農とちぎ	ベストアダー
第 7 部	スノーライト R アイーン ET	那須塩原市 眞嶋 大輔	栃 酪	
第 8 部	コバリ クララ イブ デリア	那須塩原市 小針 勤	酪農とちぎ	ベストアダー

名誉賞

区 分	名 号	出 品 者	酪 農 協	備 考
最 高 位 賞	コージー ロング ロイアーロン	市 貝 町 梶村 健介	酪農とちぎ	
未 経 産 名 誉 賞	マウンテンビュー マジック エアロ ハム	矢 板 市 山本 訓	酪農とちぎ	
経 産 名 誉 賞	コージー ロング ロイアーロン	市 貝 町 梶村 健介	酪農とちぎ	
	スノーライト R アイーン ET	那須塩原市 眞嶋 大輔	栃 酪	
未 経 産 準 名 誉 賞	ハーネスファーム レッド スター ルル	那須塩原市 高塩 久	酪農とちぎ	
経 産 準 名 誉 賞	キクイチ コラ レデューク チャンピオン	那須烏山市 菊池 善也	酪農とちぎ	
	グリーンエバー ウォーク ジャーナリスト	那須塩原市 人見 泰弘	酪農とちぎ	

第14回関東地区ホルスタイン共進会 栃木県出品牛一覧

開催期日：平成18年11月15日～16日

開催場所：千葉県千葉市千葉家畜市場

部 別	名 号	出 品 者	酪 農 協	備 考
第 1 部	ハーネスファーム レッド スター ルル	那須塩原市 高塩 久	酪農とちぎ	
	イトリフイツク アストロノミカル シロペー	那 須 町 伊藤 高行	酪農とちぎ	
第 2 部	レインボーファーム セプテンバー ストーム ロクシー	那須塩原市 大沼 辰徳	栃 酪	
	コバリ モデル メクシルド デボラ	那須塩原市 小針 勤	酪農とちぎ	
第 3 部	マウンテンビュー マジック エアロ ハム	矢 板 市 山本 訓	酪農とちぎ	
	メーランド スカイシルク ハーゲン	大 田 原 市 狸塚 信夫	酪農とちぎ	
第 4 部	レインボーファーム ブライトネス カイト パーク	那須塩原市 大沼 辰徳	栃 酪	
	ハーネスファーム スカイサイド ヒロ マーフィー ET	那須塩原市 高塩 久	酪農とちぎ	
第 5 部	キクイチ コラ レデューク チャンピオン	那須烏山市 菊池 善也	酪農とちぎ	
	PW シルキー ステイシー	矢 板 市 和気 輝	篤 根	
第 6 部	コージー ロング ロイアーロン	市 貝 町 梶村 健介	酪農とちぎ	
	イトリフイツク コムスター ジャステイン	那 須 町 伊藤 高行	酪農とちぎ	
第 7 部	スノーライト R アイーン ET	那須塩原市 眞嶋 大輔	栃 酪	
	グリーンエバー ウォーク ジャーナリスト	那須塩原市 人見 泰弘	酪農とちぎ	
第 8 部	コバリ クララ イブ デリア	那須塩原市 小針 勤	酪農とちぎ	
	パインツリー ネリー ダンテ	那須烏山市 中山 真介	酪農とちぎ	